

関係各位

薬 剤 部 長

医薬品情報第 10 号(令和 6 年度)

令和7年2月12日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用対象医薬品は3品目、新規診療科限定医薬品は2品目、新規院外登録医薬品は4品目、削除医薬品は8品目です。

☆ [新規試用採用対象医薬品]

No	申請者	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	長期 投与	会社名
1	齊藤医長 (脳神経内科 部門)	ブリエビアクト錠25mg (ブリーバラセタム)	¥373.3/錠	抗てんかん薬	不可	ユーシー ビージャ パン
2	吉谷部長 (輸血管理部門)	アルブミン 25% 静注 12.5g/50mL (人血清アルブミン)	¥4,436.0/ 瓶	血漿分画製剤	非該当	CLSベーリ ング
3	山西副薬剤部長 (薬剤部)	フィブラストスプレー500 (トラフェルミン)	¥7,390.4/ 瓶	褥瘡・皮膚潰 瘍治療剤	可	科研

※1 は脳神経内科・脳神経外科部門の診療科限定から試用採用へ採用区分の切り替え申請。

2 はアルブミンベリング 20%からの切り替え。3 は採用規格の切り替え。

☆ [新規診療科限定医薬品]

No	申請者	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	長期 投与	会社名
1	前田部長 (麻酔科部門)	フェンタニル注射液0.5mg 「テルモ」 (フェンタニルクエン酸塩)	¥887.0/管	麻酔用鎮痛剤	非該当	テルモ
2	山西副薬剤部長 (薬剤部)	レミフェンタニル静注用 2mg「第一三共」 (レミフェンタニル 塩酸塩)	¥935.0/瓶	全身麻酔用・集 中治療用鎮痛剤	非該当	丸石＝ 第一三 共

※1. は麻酔科限定(手術室のみで使用。)

2. は、現在 ICU に関与する麻酔科、集中治療科、心臓外科、血管外科のみに適応中。

今後、CCU に関与する診療科(不整脈科、肺循環科、冠疾患科、心血管集中治療科、血管内科、

心不全科、移植医療部、成人先天性心疾患科)、NCU(脳神経外科)、SCU(脳神経内科・脳血管内科)を追加。(フェンタニル注射液全規格の供給不足の影響により、院内在庫確保を図る目的。)

[新規院外登録医薬品]

No	申請者	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	長期 投与	会社名
1	宮本 OIC センター長 (OIC 部門)	ツムラ消風散エキス顆粒	¥12.1/g	漢方製剤	可	ツムラ
2		ツムラ黄連解毒湯エキス顆粒	¥14.1/g	漢方製剤	可	ツムラ
3	園浦医師 (腎臓・高血 圧内科)	レギュニール LCa2.5 腹膜透 析液シングルバッグ [®] 2.5L (腹膜透析液 9-5)	¥1761.0/袋	腹膜透析液	可	ヴァンディブ
4	園浦医師 (腎臓・高血 圧内科)	アミティーザカプセル 24 μg (ルビプロストン)	¥100.0/CP	クロライドチャ ネルアクチベ ーター	可	ヴィアトリス

※処方開始日は、3月3日(月)からとする。

☆ 削除医薬品について

No	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	削除理由
1	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「ケミア」(アルベカシン硫酸塩)	¥5,830.0/管	アミノグリコシド系 抗生物質	2023年4月以降、1例も処方実績がなく最終在庫が期限切れとなる。必要時は、患者限定として対応可能である。 (感染対策室へ事前連絡済み)
2	ジゴキシンKY錠 0.25mg (ジゴキシン)	¥9.8/錠	ジギタリス配糖体 製剤	2023年4月以降、数件程度しか処方実績がなく、最終在庫が期限切れとなる。ジゴキシン製剤の採用規格整理。ハーフジゴキシンKY錠 0.125mg、ジゴキシン錠 0.0625mg、ジゴキシン散 0.1%で対応可能である。
3	ジクロフェナクナトリウム坐剤 25mg アメル (ジクロフェナクナトリウム)	¥5.7/錠	消炎・解熱・ 抗炎症剤	後発品への切り替えが決定済みの医薬品ではあるが、2023年4月以降、処方実績が少なく、3か月後先発品が期限切れとなるため。ボルタレンサポ 50mg の1/2個の使用、アセトアミノフェン坐剤で代替可能である。
4	ロレアス配合錠「SANIK」 (クロピドグレル硫酸塩・ アスピリン)	¥76.7 錠	抗血小板剤	クロピドグレル・バイアスピリンの合剤(コンプラビン配合錠)の後発品。切り替え後も1例しか処方実績がないため。採用薬品の整理。

5	カタプレス錠 75 μ g (クロニジン塩酸塩)	¥5.9/錠	高血圧症治療剤	出荷停止中。供給再開の目途が立たないため。
6	サイレース静注 2mg (フルニトラゼパム)	¥129.0/管	麻酔導入剤	昨年、1年間で3名の処方実績のみ。期限切れによる廃棄などもあるため採用薬を整理。必要時は、患者限定として対応可能である。
7	アルブミン-ベーリング 20% 静注 10g/50mL (人血清アルブミン)	¥4,288.0/瓶	血漿分画製剤	新規試用採用対象医薬品であるアルブミン-25%静注 12.5g/50mLへ切り替えのため。
8	フィブラストスプレー250 (トラフェルミン)	¥6,483.8/瓶	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	新規試用採用対象で、フィブラストスプレー500へ規格変更のため。

※2.3.4.8については、院外処方引き続き可能。1.6は、患者限定採用へ区分変更。5はマスタ停止。

☆ 削除対象医薬品について

No	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	削除理由
1	ミラクリッド注射液 10万単位 (ウリナスタチン)	¥1,525.0/ 管	多価・酵素阻害剤	2023年度はICUで2名。2024年は処方実績なし。院内在庫が期限切れとなる。院内製剤(要時調製区分)のウリナスタチン膾坐剤の原料ともなっているため、正式採用を継続中だが、少なくとも3年以上調製依頼がないため。必要時は、患者限定採用として対応可能である。
2	フェノバルエリキシル 0.4% (フェノバルビタール)	¥2.8/mL	催眠・鎮静・ 抗けいれん剤	処方実績が1年以上ないため採用薬を整理。フェノバルビタール散で代用可能である。
3	エレンタール配合内用剤 (経腸成分栄養剤 1-1)	¥58.6g	成分栄養剤	有効期限が短く、処方実績も少ないため。必要時は患者限定として対応可能である。経腸栄養剤の採用を整理。
4	ハイカリック液-3号 (高カロリー基本液 5-3)	¥5.9/錠	高カロリー輸液用 基本液	2025年1月までの処方実績はなし。2023年度は9名。院内最終在庫が期限切れとなるため。採用薬品を整理。

※上記削除対象医薬品について、異議がございましたら令和7年2月28日(金)まで反対意見を受け付けます。特に反対意見がなければ、次回の薬事委員会にて正式に削除が決定します。

☆ 後発医薬品への切り替え対象医薬品について

No	医薬品名 (一般名)	薬効	切り替え予定の後発医薬品
1	ケアラム錠 25mg (イグラチモド) 薬価：¥101.3/錠	抗リウマチ剤	イグラチモド錠 25mg「サワイ」 薬価：¥42.6/錠

2	アイファガン点眼液 0.1% (ブリモニジン酒石酸塩) 薬価：296.1/mL	緑内障・高眼圧治療剤	ブリモニジン酒石酸塩点眼液 0.1% 「ニットー」 薬価：¥107.7/mL
3	ノルバデックス錠 10mg (タモキシフェンクエン酸塩) 薬価：45.1/錠	抗乳癌剤	タモキシフェン錠 10mg 「DSEP」 薬価：¥17.3/錠
4	ロナセン錠 2mg (プロナンセリン) 薬価：¥46.2/錠	抗精神病剤	プロナンセリン錠 2mg 「DSPB」 薬価：10.8/錠
5	ルナベル配合錠UDL (ノルエチステロン・エチニ ルエストラジオール) 薬価：¥170.8/錠	月経困難症治療剤	フリウエル配合錠UDL 「あすか」 薬価：70.6/錠
6	アリミデックス錠 1mg (アナストロゾール) 薬価：166.8/錠	抗乳癌剤	アナストロゾール錠 1mg 「DSEP」 薬価：166.8/錠
7	サンドスタチン皮下注 100 μ g (オクトレオチド酢酸塩) 薬価：¥1,471.0/管	持続性ソマトスタチンアナログ製剤	オクトレオチド皮下注 100 μ g 「あすか」 薬価：¥766.0/管

※4 以外は患者限定医薬品である。3, 4, 5, 6 はAG (先発品と添加物も全く同一の製剤)。AGと国立病院機構の共同購入リストより変更先のメーカーを選択した。年間購入金額は、2-3万程度の抑制にしかならないが、不良在庫の抑制、期限切れによる廃棄金額の抑制に貢献するための対応。上記について異議がありましたら、薬事委員会終了後から2月28日(金)まで、反対意見を受け付けます。特に反対意見がなければ、次回の薬事委員会で後発医薬品への切り替えが正式に決定します。

☆ その他

医薬品の供給について

出荷状況	医薬品名	現状・理由
出荷制限	イナビル吸入粉末剤 20mg	インフルエンザの流行とオセルタミビルの需要増大による一時出荷停止の影響を受けて、限定出荷となる。当院は、処方頻度はそれほど高くなく、在庫も確保できている状況。
	リドカイン静注 2%シリンジ「テルモ」	他社のリドカイン製剤の限定出荷の影響により安定供給に支障をきたす可能性が生じたため、限定出荷となる。救急カート搭載の医薬品でもあり、引き続き在庫確保に努める。
	ソル・コーテフ注射液 100mg・500mg	製造ラインの無菌性疑義により、事実上出荷停止状態となっている。2025年4月までは、需要の1割程度の供給となる見込み。救急カート搭載医薬品であり、アナフィラキシーの対応に必要な医薬品でもある。院内の在庫確保のため、緊急時に限っての使用としていただきたい。現在その影響を受けて、 <u>水溶性プレドニン注 10mg、リンデロン注(0.4%) 2mg, 4mg</u> も限定出荷となり、供給が不安定な状態が続いている。制限がないのは、ソル・メドロール静注の各規格のみである。可能な限りステロイド注射剤の使用は、ソル・メドロール静注を選択いただくようご協力をお願いする。
	アスコルビン酸注 500mg PB 「日新」	想定を上回る需要増大により、安定供給に支障をきたす可能性が生じたため限定出荷となる。引き続き在庫確保に努める。

	カプトリル細粒 5%	自社の事情により安定供給に支障をきたす見込みとなったため、当面の間限定出荷となる。当院は、年間購入実績が2箱前後であり、引き続き在庫の確保に努める。通常出荷へ戻らず在庫消尽の場合は、カプトリル錠 12.5mg の粉碎での対応を依頼することも検討する。
	ミリリノン注射液 10mg 「タカタ」	自社の事情により限定出荷となり、供給量は通常の9割以下となる予定。当座の在庫分として50箱を確保済。しかし、当院は、平均で月150箱程度の購入実績があるため、引き続き在庫の確保に努める。今後、在庫が逼迫した時は、代替えとして、コアテック注射液への変更が可能か、検討を依頼させていただきます。
供給再開	ツムラ人参養栄湯エキス顆粒	1月に原薬となる生薬の一部の品質に問題があることが原因で限定出荷となっていたが、通常出荷へ戻る。特に在庫消尽することなく対応は可能であった。
	カロナール錠・細粒	12月2日よりカロナール錠、細粒ともに供給体制が整い、限定出荷を解除。供給が停止した一昨年に緊急的に採用したアセトアミノフェン細粒 20% 「マルイ」 の2025年5月期限の在庫が残り2kgあるため、優先的にそちらの使用促進を依頼させていただき、錠剤の粉碎を不可へマスタを変更。小児・集中治療科は、カロナール細粒 20% で対応継続。アセトアミノフェン細粒 20% 「マルイ」 の在庫が消尽した段階で、マスタの停止を行い、カロナール細粒 20% を通常採用とする予定。(薬剤部連絡 126号で配信済)
	ラピアクタ点滴静注	インフルエンザの流行、治療薬の供給一時停止などを受けて限定出荷となっていたが、安定供給が可能となり、通常出荷へ。
	S P トローチ 0.25mg 「明治」	2月4日より出荷停止から、限定出荷再開へ。当院は、処方量は多くなく、1200錠/箱の在庫を1箱確保しているため当面对応は可能と考えている。

以上